

34

社会医療法人
壮幸会

行田総合病院

361-0056 行田市持田376

TEL 048-552-1111 FAX 048-552-1116

URL http://gyoda-hp.or.jp

f i X

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数

504床

医師数

51人

指導医数

17人

外来患者数
(1日平均)

607人

入院患者数
(1日平均)

392人

救急外来
患者数
(1日平均)

24人

救急車搬送
患者数
(1日平均)

15人

心肺停止状態
搬送患者数
(1日平均)

0.35人

診療科目 内科／循環器内科／消化器内科／消化器外科／呼吸器内科／呼吸器外科／腎臓内科／神経内科／リウマチ科／外科／肛門外科／整形外科／脳神経外科／血管外科／皮膚科／泌尿器科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／救急科／麻酔科／放射線科／病理診断科／リハビリテーション科

病院の特徴

働きやすく積極的に手技を学べる環境

当院は地域医療支援病院・災害拠点病院・がん診療指定病院・二次救急指定病院など多くの指定を受けています。医局は、大学からの派遣はなく総合医局制度を敷いているため、診療科の横断的なコミュニケーションが可能でやりたい治療を実践できる環境です。

救急は、北部メディカルコントロールの埼玉県救急搬送困難事案受入病院にも指定され、埼玉県北西部・北部の救急搬送の広域を担っているため、受け入れ件数は地域NO.1(年間5,700台以上)であり多様な症例を経験することができます。また、地域のかかりつけ医として感冒や各種諸症状の初期診療の体制も充実しており、ケアミックス型の病院であるため、入院後も急性期から慢性期まで完結型の医療を学べます。

支援制度

- 見学補助／あり
- 住宅補助／あり
- 宿舎／あり
- 産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ

共に学び、共に成長していける仲間を求めています

副院長
小島 達白
出身大学:新潟大学

当院は対人口医師数の最も少ない埼玉県北部の医療圏で、急性期から回復期まで幅広い病気に応じて対応するケアミックス型の総合病院です。埼玉県救急搬送困難事案受入病院として救急搬送は年5,700件を超え、二次救急レベルの患者さんを多く経験することが可能です。数年前より1学年5名の研修医を定員として受け入れており、いわゆる屋根瓦方式で1年生は2年生からよく学べる環境です。

地域医療支援病院や災害拠点病院として医師が経験し学ぶべき症例が多いこと、研修中の診療科以外にも時間に余裕があれば積極的に患者治療に参加できることが特徴です。学年初頭の1ヶ月は前日の救急症例のカンファレンスが恒例となっており、普段の院内勉強会・研究会も頻繁に行われております。

研修医として日々学び、成長しつつ、責任感、積極性、協調性を持って、チームスタッフの一員として働く気概のある先生方の応募をお待ちしております。

雰囲気も良く、オンオフのメリハリがあって、働きやすい環境です

研修医1年目
田中 辰弥
出身大学:帝京大学(2025年卒)

行田と言えば行田総合病院。地域でそう言われている当院では、救急搬送件数が多く、様々な症例を経験することができます。研修医の人数は少ないですが、熱心な指導医の先生方の下、やる気のある精鋭同士で日々切磋琢磨し充実した研修生活を送ることができます。経験できる手技や症例の数も多く、2年間で身につく力は計り知れないでしょう。

研修ローテーションについては比較的自由がきく部分が多く、自分の将来に合わせたスケジュールを組むことが可能なことも当院研修の魅力の一つです。

我々と一緒に行田市の、いや、埼玉県の医療を支えてみませんか。

是非一度病院見学にお越しください！

研修データ

初期研修医数
(1年目)

5人

初期研修医数
(2年目)

5人

昨年度
マッチング
受験者数

23人

募集人数

5人

当直日数
(月平均)

4日

当直
開始時期

1年目4月

当直時の
勤務体制※
※研修医以外の当直人数

3~4人

主な
出身大学 弘前大学／富山大学／愛媛大学／産業医科大学／秋田大学／獨協医科大学／帝京大学／昭和大学(現・昭和医科大学)／大阪大学

研修プログラムの特色

埼玉県北部の中核病院の為、症例が集まり、採用する研修医は少人数の為、一人ひとりが多くの手技を経験できる環境にあります。また、外科系の指導医や専門医が多数在籍しているため多角的な視点で指導を受けられます。

その他、内科系も各専門医が揃っております。「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」"プライマリ・ケア"を経験することができます。

地域医療の基幹病院として、一般診療、救急外来をとおして、プライマリ・ケアを中心に幅広い診療能力を身に付け、チーム医療の一員としての役割を自覚し、医師として必須の人格を涵養することを目指します。

研修スケジュール《年間研修予定(例)》												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	内科(総合内科8週、循環器内科4週、消化器内科4週)				救急科		外科	産婦人科	精神科	小児科	地域医療
2年次	内科(総合内科8週)		救急科		外科	選択科						

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

● 給与 / 1年目:688万円／年、2年目:738万円／年

● 諸手当 / 年俸に含む、学会手当(海外の学会参加を含む)年間12万円まで補助有り

● 勤務時間 / 8:30～17:30

● 保険 / 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険(病院において加入)

● 休暇 / 日曜日、祝祭日、有給休暇(年10日)、年末年始(4日間)

● その他 / 寮あり、医療費還付制度あり



応募連絡先

医療推進課:西尾 実

TEL 048-552-1111(代表)

FAX 048-552-1116

Mail nishio@gyoda-hp.or.jp